



2005年11月8日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹中 登一
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東証・大証・名証(各第一部)、札幌
決算期 3月
問い合わせ先 広報部長 田中 昭弘
Tel:(03)3244-3201

米国テラバンス社の医療用医薬品 抗生物質「テラバンシン」 に関するライセンス契約のお知らせ

アステラス製薬株式会社(本社:東京、社長:竹中 登一、以下「アステラス製薬」)は、本日、米国の医薬品会社テラバンス社(本社:カリフォルニア州サウス・サンフランシスコ、CEO: Mr. Rick E Winningham)より、同社が創製し開発中の抗生物質「テラバンシン(一般名)」について、日本を除く全世界で独占的に開発、製造及び販売するライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。ライセンス契約の経済条件の詳細は開示していませんが、アステラス製薬は総額で221百万ドルの一時金を支払うとともに、製品の販売に応じてテラバンス社にロイヤルティーを支払うこととなります。

テラバンシンは、脂質化グリコペプチド系抗生物質です。本化合物は、細菌の細胞壁合成を阻害するとともに細胞膜透過性の増大作用をあわせ持っており、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)を含むグラム陽性菌による感染症治療における新しい選択肢として期待されています。テラバンシンは現在米国において、グラム陽性菌に起因する複雑性皮膚・軟部組織感染症並びに院内肺炎の両疾患を対象に第Ⅲ相臨床試験を実施中です。患者登録は複雑性皮膚・軟部組織感染症については2006年前半、院内肺炎については2006年後半に完了の見込みです。

アステラス製薬は、感染症領域を重点領域と位置づけており、キャンディン系注射用抗真菌剤「マイカミン/ファンガード」などをグローバルに開発、販売しております。このたびテラバンシンが新たに加わることで、本領域で築きあげている事業基盤を更に拡大できるものと期待しております。

また、今回のライセンス契約において、アステラス製薬は、テラバンス社が同じく感染症領域で創製した新規抗生物質「TD-1792」の日本を除く全世界での開発・販売に関するオプション権も獲得しました。「TD-1792」は、グリコペプチド系とベータラクタム系双方の抗菌活性を一つの分子にあわせ持つユニークな化合物です。

本ライセンス契約は米国の独禁法当局による承認をもって発効することになります。

テラバンス社は、自社で創製した化合物の開発・販売を行っているバイオメディカル医薬品会社です。同社は、呼吸器系疾患、細菌感染症や消化器系疾患など多くの領域で低分子化合物の創製、開発並びに商業化を行っています。

以 上